

事業報告

事業概要

畜産業を営むもの及びその組織する団体の経営安定、運営及び保健衛生に関する指導、肉用子牛生産者補給金の交付等の事業を推進し、畜産業を営むものの所得の安定を通じて、県内畜産業の振興に寄与することを目的に事業を実施した。

事業実施状況

【経営支援対策事業】

1. 公益目的事業

(1) 畜産経営技術高度化促進事業（県受託）

中核・新規就農者及び地域経営者集団の経営体に対し、自らの経営改善努力の助長と生産・経営技術支援を効果的及び効率的に実施するため、次の取り組みを行った。

| 区 分 | 内 容 |
|-----------------------------------|---|
| 1. 支援指導研究会 研究会の開催 1回 | ○平成26年7月30日 ・非常勤畜産コンサルタントの委嘱 県関係10名・県関係団体4名 ・検討事項 平成25年度支援指導の実績について 平成26年度支援指導の基本的な考え方について 平成26年度支援指導の実施とスケジュールについて ・支援研修会 県内産ET肉専用種の肥育実態について ・出席者参集範囲 計14名 |
| 2. 調査研究 | 研修・会議等への出席 ・全国会議等への出席7回(東京、埼玉、熊本、鹿児島 延7名) |
| 3. 指導相談窓口の設置 | 県内2地域(国中、富士ヶ嶺地域)に2名配置 |
| 4. 個別経営支援・指導 | 個々の経営実態に合わせ、診断分析指導等を実施 支援・指導地域・戸数については別表のとおり |
| 5. 地域支援指導 (1)畜産経営優良事例発表会の開催 1回 | (開催日等)平成27年2月23日 ベルクラシック甲府 ◎発表演題並びに発表者 (演題)「ふじさん牧場の挑戦と今後の展望」 (発表者)山梨県YBS農業賞チャレンジ賞受賞 株式会社 ふじさん牧場 代表取締役 藤田 太一氏 (演題)「6次産業化への取組み」 (発表者)山梨県農業まつり農水産業功労者表彰 養豚経営 高村 照己氏 (演題)「運の良い人生」 (発表者)県政功績者表彰 採卵鶏経営 代表取締役 高野 善正氏 ◎出席者 55名 |

| 区 分 | 内 容 |
|--------------------|--|
| (2)経営セミナーの開催 2回 | (開催日等)平成26年12月10日 富士ヶ嶺公民館 ◎経営簿記記帳等についてスキルアップセミナー ○演題並びに講師 (演 題)平成26年度確定申告にあたっての注意点等 (講 師)大月税務署 甲府税務署 各職員 2名 ○出席者 15名 (開催日等)平成27年2月23日 ベルクラシック甲府 ◎畜産関連情報に関する研修会 ○演題並びに講師 (演 題)「TPP交渉中間報告と消費税軽減税率の動向」 (講 師)公認システム監査人・IFRSコンサルタント 田淵 隆明氏 ○出席者 50名 |
| (3)集中研修の開催 1回 | (開催日等)平成26年9月17日 富士ヶ嶺公民館 ◎開催内容 ○ソリマチ研修会 ◎出席者 19名 |

(別表)個別経営支援・指導実施戸数、集団数

()は集団数

| 区 分 | 酪農 | 肉用牛 | 養豚 | 養鶏 | 支援者 | 集団等 | 計 |
|------------|-----|-----|----|----|-----|------|---------|
| ①経営診断改善指導 | 8戸 | 2戸 | 1戸 | 0戸 | — | — | 11戸(0) |
| ②経営管理指導 | 3戸 | 1戸 | 0戸 | 0戸 | — | 1集団 | 4戸(1) |
| ③生産技術指導 | 9戸 | 4戸 | 2戸 | 1戸 | — | 9集団 | 16戸(9) |
| ④フォローアップ指導 | 15戸 | 4戸 | 0戸 | 0戸 | 1戸 | 1集団 | 19戸(1) |
| ⑤資金等経営安定指導 | 8戸 | 1戸 | 1戸 | 0戸 | — | — | 10戸(0) |
| ・支援対象農家実戸数 | 43戸 | 12戸 | 4戸 | 1戸 | 1戸 | 11集団 | 60戸(11) |

(2) 地域畜産支援指導等体制強化事業（地方競馬全国協会補助）

本協会で開催する経営支援対策事業に対して補助を受け、次の取り組みを実施した。

○畜産の担い手の体制強化

(3) 貸付事業指導等事業（畜産近代化リース協会受託）

畜産近代化リース協会の貸付を受けた畜産農家に対し、適正な管理と利用について技術指導を実施し、搾乳施設・機械の導入確認等を実施した。

| 区 分 | 内 容 | |
|---------------|------------------------|-----|
| 1. 指導戸数及び指導日数 | 酪農家 11戸(富士河口湖町、北杜市) 4日 | |
| 2. 対象施設及び機械 | パイプラインミルクカー | 1 基 |
| | バルククーラー | 2 基 |
| | バキュームシーダー | 1 基 |
| | トラクター | 9 台 |
| | 乳頭清拭装置 | 1 基 |
| | 飼料攪拌機 | 2 基 |
| | 発電機 | 2 基 |
| | ロールベアラー | 1 基 |
| | ロータリーレーキ | 1 基 |
| | ローダー | 2 基 |
| | スラリーセパレーター | 1 基 |
| | スプレッダー | 1 基 |
| | コンビラップ | 1 基 |
| | 播種機 | 1 基 |
| モアコンディショナー | 1 基 | |
| バキュームカー | 1 基 | |
| マニアスプレッダー | 1 基 | |

| | | |
|----------------|----------------|-----------|
| | ショベルローダー 延べ | 1 基 30 |
| 3. 新規開拓に係る調査事業 | 3 地域 | 28 戸 |

2. 収益事業

(1) 公庫資金活用推進支援事業（中央畜産会受託）

多用な経営展開を図る個別農業経営体の経営ビジョン、経営状況、経営ニーズ等を的確かつ客観的に把握し、これに即した経営体へ経営フォロー及び計画作成支援を行った。

| 区 分 | 内 容 |
|------------|----------------|
| 対象経営の畜種・地域 | 酪農 2 戸(富士河口湖町) |

(2) 養豚ABL(動産担保融資)担保物件調査（日本政策金融公庫受託）

日本政策金融公庫が実施する動産担保融資に係る経営に対して、定期的に担保動産の数量と管理状況を現地確認し、その報告を行った。

| 区 分 | 内 容 |
|--------------|---|
| 毎月末時点の担保豚の確認 | 対象経営1戸に対し、公庫の示した様式に基づき、ABL借受者から毎月末の担保豚頭数の報告を受け、その内容を日本政策金融公庫へ報告 実施回数 12 回 |

(3) 酪農生産基盤維持緊急支援事業（中央酪農会議補助）

廃業する酪農家の乳用牛を継承した酪農家に対し1頭当たり3万2千円の補助金を交付した。

| 区 分 | 内 容 |
|------------|--------------------|
| 対象経営の畜種・地域 | 酪農 1 戸 5 頭(富士河口湖町) |

(4) 都府県酪農経営国産粗飼料利用体制強化事業（中央畜産会補助）

酪農経営安定のため「国産粗飼料利用体制強化計画」策定した酪農家に対し成牛1頭当たり6千百円の補助金を交付した。

| 区 分 | 内 容 |
|------------|--|
| 対象経営の畜種・地域 | 酪農 30 戸 1,521 頭(富士河口湖町) 24 戸 853 頭(北杜市) |

【衛生対策事業】

1. 公益目的事業

(1) 自衛防疫強化対策事業（県補助）

○特定疾病損耗防止

吸血昆虫媒介疾病等の発生・流行防止のため、予防接種を実施した。

(単位:頭羽)

| 牛関係 | 頭数 | 豚関係 | 頭数 | 鶏関係 | 羽数 |
|-----------|-------|--------|-------|-----------|---------|
| 牛イバラキ病 | 0 | 豚丹毒(生) | 6,855 | ND | 1,000 |
| アカバネ病 | 1,773 | | | NB | 588,000 |
| 伝染性鼻気管炎 | 439 | | | オイルバックス 7 | 103,000 |
| 五種混合 | 115 | | | | |
| 六種混合トキソイド | 503 | | | | |
| ポビバクサー5 | 248 | | | | |
| 計 | 3,078 | 計 | 6,855 | 計 | 692,000 |

○豚流行性下痢(PED)対策（拡充）

豚流行性下痢(PED)の県内での発生を受けウイルス拡散防止対策として事業を拡充し、消毒機材購入補助等を実施した。

| 補助内容 | 補助対象数量 | 補助金額（円） |
|------------|--------|-----------|
| 動力噴霧装置導入補助 | 11台 | 1,936,440 |
| 消毒薬購入補助 | 41本 | 1,239,948 |
| ワクチン購入費補助 | 5,336頭 | 2,881,440 |
| 計 | | 6,057,828 |

（2）衛生体制強化基金事業（中央畜産会助成）

自衛防疫事業の効果的な実施や組織の強化を図った。

（3）家畜生産農場清浄化支援対策事業（国補助）

家畜の損耗防止を図り、畜産の健全な発展を図るため次の事業を実施した。

① ヨーネ病自主検査（検査：家畜保健衛生所）

本病のまん延を防止し、早期清浄化を図るため、県立八ヶ岳牧場入牧牛を中心に実施した。

| 区分 | 対象農場(延べ戸数) | 検査頭数 |
|------|------------|------|
| 東部管内 | 17 | 268 |
| 西部管内 | 38 | 344 |
| 計 | 55 | 612 |

② オーエスキー病清浄化推進総合対策

| 区分 | 対象地域 | 対象農場戸数 | 頭数 | 検査結果 | 検査場所 |
|-----------|------|--------|-----|------|-----------|
| 清浄種豚の流通促進 | 早川町 | 1 | 295 | 全て陰性 | 西部家畜保健衛生所 |

（4）オーエスキー病清浄化対策事業（県受託）

オーエスキー病の清浄化及び清浄化地域の維持のために、養豚農家診療獣医師が定期的に各農家を巡回し指導及び監視強化を実施した。

また、農家の指導・調査について地域検討会を開催した。

| 区分 | 調査及び指導内容 |
|------------|----------------------------------|
| 浸潤農家指導 | 浸潤農家のワクチン接種・感染豚の淘汰状況等の調査及び指導 1戸 |
| 清浄地域監視体制強化 | 農家の豚の移動・衛生状況・車両消毒等の調査及び指導・監視 22戸 |

（5）家畜防疫互助基金造成等支援事業（農畜産業振興機構補助）

本事業は、口蹄疫、豚コレラ等の海外悪性伝染病が発生した場合に備え、生産者自ら積み立てを行い、発生時の損害を互助補償する仕組に国（農畜産業振興機構）が助成（1:1）するものである。

本年度は、新事業実施期間（平成24年度～平成26年度）の3年目の業務として、事務委託先を通じ、未加入に対する加入推進及び加入者に対する増頭等の変更契約の呼びかけを行うため、地方推進会議を実施するなど、推進活動を行った。

① 地方推進会議の開催

| 開催日 | 開催場所 | 内容 | 参加人数 |
|----------|------|----------------------------|------|
| H26.9.17 | 甲府市 | ・契約状況等について ・本年度事業推進について | 17 |

② 増頭等の変更契約

| 区分 | 牛 | 豚 |
|--------------|--------------|----|
| 増頭に伴う生産者積立金額 | 1戸 5頭 1,300円 | |
| 廃業届 | 5戸 | 1戸 |
| 振込名義又は振込口座 | 4戸 | 2戸 |

* 生産者積立金については、当協会の預り金として一旦会計処理を行い(公社)中央畜産会へ納入した。

（6）馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会受託）

本事業の実施内容等について協議するため、馬飼養関係者を対象に整備委員会を開催するとともに、飼養衛生管理に関する知識の普及・啓発を図るための技術講習を開催した。

また、地域馬獣医療に関する地域防疫体制の向上を図ることを目的に、馬伝染性疾病の清浄化に対する認識度等について馬飼養者を対象にアンケート調査を実施した。

①委員会・講習会

| 区 分 | 開催日 | 開催場所 | 内 容 | 参加人数 |
|-------|-----------|------|---|------|
| 整備委員会 | H26.10.14 | 甲府市 | ・事業内容について ・平成24・25年度馬獣医療実態調査実施結果について ・平成26年度馬獣医療実態調査について ・馬の飼養衛生管理技術講習会について ・馬衛生管理等に関する情報について | 12 |
| 講習会 | H26.12.19 | 甲府市 | 「バイメカが教える後肢の使い方」 講師：公益社団法人日本装蹄協会 調査役 青木 修氏 | 57 |

②アンケート調査

| 調査時期 | 内 容 | 調査戸数 |
|--------|---|------|
| 26年11月 | 予防衛生対策の概念を把握するとともに馬伝染性疾病の清浄化に対する認識度等の実態調査 | 36 |

(7) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（国補助）

死亡牛の円滑な収集、輸送及び処理のための取り組み、BSE検査の円滑な実施を推進するため次の事業を実施した。

○死亡牛検査処理安定化対策

(単位:頭、円)

| 区 分 | 内 容 | 処理頭数 | 単価 | 補助金 |
|---------|------------------|------|--------|-----------|
| 管理促進助成金 | 一時保管 | 73 | 500 | 36,500 |
| 県内輸送費 | 農場から一時保管施設まで | 73 | 1,000 | 73,000 |
| | 一時保管施設から直接焼却施設まで | 73 | 750 | 54,750 |
| | 農場から直接焼却施設まで | 0 | 1,500 | 0 |
| 適正処理費 | 焼却(24ヶ月齢以上) | 117 | 10,000 | 1,170,000 |
| | 計 | 336 | - | 1,334,250 |

(8) 家畜防疫緊急対策事業（富士河口湖町補助）

富士河口湖町管内の生産者で、ワクチン接種による家畜防疫対策の徹底を図る者に対し、生産者自己負担額の1/2を助成した。

(単位:頭、円)

| 区 分 | 接種頭数 | 補助金 |
|-----|-------|-----------|
| 牛 | 2,055 | 1,881,964 |
| 豚 | 6,780 | 924,450 |
| 計 | 8,835 | 2,806,414 |

2. 収益事業

(1) 地域自衛防疫強化特別対策事業（家畜衛生対策推進協議会受託）

地域伝染病発生時の対応等を支援するため、畜産農家での初動防疫活動、地域特定疾病対策等の検討を行うとともに、生産者段階での防疫演習を実施した。

① 地域自主防疫推進対策

畜産農家の初動防疫活動の有効な方策、地域特定疾病対策の啓発・普及等地域自衛防疫強化推進のための会議を開催した。

| 開催日 | 開催場所 | 内 容 | 参加人数 |
|----------|------|----------------------|------|
| H26.9.17 | 甲府市 | 事業概要及び事業推進スケジュールについて | 18 |
| H27.2.4 | 甲府市 | 平成 26 年度実施内容等について | 20 |

② 早期緊急自衛防疫対策の推進

畜産農家の初動防疫活動が有効に機能する体制の整備推進を行うため、生産者段階での防疫演習を実施した。

| 開催日 | 開催場所 | 内 容 | 参加人数 |
|-----------|--------|----------------------------|------|
| H26.11.27 | 富士河口湖町 | 平成 26 年度口蹄疫防疫演習(机上演習と実地演習) | 99 |

(2) 馬インフルエンザ等防疫強化特別対策事業（中央畜産会委託）

在来馬等の伝染性貧血清浄性確保のため地域検討会に参加するとともに在来馬等を含めた県内の飼育馬の伝染性貧血清浄性の確認調査等を実施した。

| 区 分 | 内 容 |
|------------|------------------------------------|
| 対象経営の畜種・地域 | 地域検討会 2 回(長野県にて) 清浄性調査対象は県内の飼育馬 |

【経営安定対策事業】

1. 公益目的事業

(1) 肉牛価格差補填事業（協会単独）

平成26年6月6日開催の理事会にて承認された保証基準価格・補填方法、拋出金、積立金の額及び徴収方法により事業を実施してきたところ、本年度において牛枝肉価格は、回復傾向にあり、交雑・乳雄において補償基準価格の改定をおこなった。発動については、肉専用種で4月から9月、交雑・乳雄で、4月から10月に発動があった。

[肉牛補填実績(ベース事業)] 契約戸数:18戸

注:・1頭当たりの補填対象キログ数は420kg (単位:頭、円)

| 頭 数 | | ①保証基準価格 | ②補填単価 | ③補填頭数 | ④積立財源 | ⑤補填金支払額 | 積立金残高 |
|------|-----|---------|-------|-------|-----------|---------|---------|
| 肉 専 | 382 | 1,950 | 7.5 | 129 | 1,329,275 | 480,060 | 849,215 |
| 交・乳雄 | 76 | 1,190 | 7.5 | 23 | | | |
| | | | 1 | 3 | | | |

・④は本年度造成額(契約1頭あたり生産者積立・全農山梨拋出各1,000円)に前年度繰越額を加えた額
・⑤は、②×③×420

(2) 子牛市場活性化推進事業（協会単独）

山梨北部家畜市場への肉用子牛の適正な出荷を奨励し、市場取引成立牛に対して奨励金の交付と、輸送費補助を実施すると共に、富士ヶ嶺地域の生産者へ事業参加の働きかけをし、より一層の市場活性化と肉用子牛の生産振興を図った。

[奨励金交付実績] (単位:頭、円)

| 区 分 | 計画頭数 | 上場頭数 | 交付頭数 | 奨励金単価 | 奨励金交付額 |
|----------|------|------|------|--------|-----------|
| 黒毛和種 | 95 | 56 | 46 | 20,000 | 920,000 |
| 交雑種又は乳用種 | 90 | 66 | 45 | 7,000 | 315,000 |
| 計 | 185 | 122 | 91 | — | 1,235,000 |

[輸送費補助実績] (単位:頭、円)

| 補助内容 | 年間対象頭数 | 年間補助額 |
|------------------------|--------|--------|
| ① 出荷場所から市場まで 40 km未満 | 82 | 44,280 |
| ② 出荷場所から市場まで 40 kmを超える | 3 | 30,000 |
| 合計 | 85 | 74,280 |

(3) 肉用子牛生産者補給金制度（農畜産業振興機構、県補助）

本制度は、肉用子牛の平均売買価格（品種別・四半期毎）が、毎年度決定する保証基準価格を下回った場合に交付される。

交付財源については、平均売買価格が合理化目標価格を上回る場合、機構からの交付金により賄われており、平均売買価格が合理化目標価格を下回る場合、交付金の他に下回る部分について機構・県の補助金と生産者が拠出した財源を基に賄われる。

子牛価格は、取引頭数が減少傾向にあること等から上昇傾向で推移しており、今年度は補給金の発動はなかった。

また、個体登録頭数は前年を下回り2,062頭となり、第5業務対象年間を終了した。

[個体登録実績及び生産者積立金造成実績] (単位:頭、円)

| 区 分 | 黒毛和種 | 乳用種 | 交雑種 | 合 計 |
|--------|--------|-----------|-----------|------------|
| 登録頭数 | 42 | 262 | 1,758 | 2,062 |
| 積立金単価 | 2,200 | 12,700 | 5,000 | — |
| 積立金造成額 | 92,400 | 3,327,400 | 8,790,000 | 12,209,800 |

注：生産者積立金造成の負担割合は、農畜産業振興機構 1/2・山梨県 1/4・生産者 1/4

[平均売買価格及び生産者補給金発動実績] (単位:円)

| 区 分 | 黒毛和種 | | 乳用種 | | 交雑種 | |
|--------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|
| | 平均売買 価格 | 補給金 単価 | 平均売買 価格 | 補給金 単価 | 平均売買 価格 | 補給金 単価 |
| 平成26年1月～3月 | 542,500 | 0 | 153,500 | 0 | 322,500 | 0 |
| 平成26年4月～6月 | 558,400 | 0 | 145,600 | 0 | 299,300 | 0 |
| 平成26年7月～9月 | 556,100 | 0 | 140,900 | 0 | 302,900 | 0 |
| 平成26年10月～12月 | 614,000 | 0 | 167,700 | 0 | 357,400 | 0 |

(参考)

[生産者補給金交付状況] (単位:頭、円)

| 区 分 | 黒毛和種 | その他肉専 | 乳用種 | 交雑種 | 合 計 | 頭数 |
|----------|-----------|------------|---------------|------------|---------------|--------|
| 第1業対年間合計 | 1,604,300 | 10,881,680 | 721,184,580 | | 733,670,560 | 11,486 |
| 第2業対年間合計 | 0 | 46,447,750 | 309,221,410 | | 355,669,160 | 10,537 |
| 第3業対年間合計 | 301,300 | 8,350,860 | 190,847,770 | 79,797,720 | 279,297,650 | 5,932 |
| 第4業対年間合計 | 0 | 0 | 13,669,560 | 0 | 13,669,560 | 3,438 |
| 第5業対年間合計 | 0 | 0 | 22,923,200 | 0 | 22,923,200 | 950 |
| 合 計 | 1,905,600 | 65,680,290 | 1,337,644,240 | | 1,405,230,130 | 32,343 |

(4) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業（農畜産業振興機構補助）

① 補給金制度運営適正化事業

新全国統一電算処理システムにより補給金交付業務の的確な実施と効率化を図り、家畜市場取引情報の収集と報告を行った。

また、都道府県指定協会指導体制強化事業により、事務委託先及び契約生産者に対し、次のとおり調査指導を行い、適正な制度実施に努めた。

| 区 分 | 内 容 |
|------|---|
| 調査指導 | 事務委託先における補給金制度業務状況確認と制度関係書類等の整備状況調査及び指導 契約生産者における契約書及び登録申込書の保管状況の調査指導 ① 第2四半期 ・委託先 全農県本部、クレイン農協、笛吹農協 ・契約生産者 4戸 ② 第3四半期 ・委託先 梨北農協、山梨県酪農協 |

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・契約生産者 3 戸 ③ 第 4 四半期 巨摩野農協 ・契約生産者 1 戸 |
|--|---|

結果については、重要な指摘事項はなく、委託先に対しては、効率的な事務処理の指導と、登録・報告業務について、適正な事務処理を実施していくよう、また契約生産者については、委託先への速やかな報告と、家畜改良センターへ各報告について適正かつ円滑に実施するよう指導した。

②指定協会運営体制支援事業

補給金制度の円滑な実施体制の確保と、協会運営体制の強化を図るため、農畜産業振興機構から財政支援を受けた。

(5) 肉用牛繁殖経営支援事業（農畜産業振興機構補助）

肉用牛繁殖経営は、子牛出荷までの生産期間が長いため、資本回転率が低く多額の運転資金を必要とし、子牛価格の変動の影響を受けやすいため、肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛価格が発動基準を下回った場合に差額の一部を補填する事業である。

本県は黒毛和種のみで参加しているが、本年度は価格が安定して推移したことから各四半期共に発動はなかった。

(6) 肉用繁殖経営支援地域推進（農畜産業振興機構補助）

肉用牛繁殖経営支援事業の適正かつ円滑な推進を図るため、事業の趣旨、内容等の周知徹底、参加者等に対する指導及び必要な支援を実施するとともに、環境と調和のとれた農業生産活動の推進を図れるよう努めた。

(7) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（農畜産業振興機構補助）

本事業は、四半期ごとに肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合、粗収益(全国平均)と生産費(全国平均)との差額の 8 割を補填金として交付するため、生産者の抛出と国の補助金を財源として基金を造成する。

積立金については、26 年 2 月の大雪により被災した生産者を対象に 2 月～6 月分の生産者積立金の免除を行った。

また、積立金単価については、毎年 4 月の積立対象牛から変更となっている。

補填金については、枝肉相場が堅調に推移しており、肉専用種において平成 26 年 6 月から 8 月の 3 ヶ月間のみ発動し、交付を実施した。一方、交雑種、乳用種については、枝肉相場等の厳しい状況を反映し、毎月発動があり、交付を実施した。

なお、事業を円滑に推進するため、担当者会議の開催等事業推進を行った。

[基金造成実績] 契約生産者戸数 46 戸 27 年 3 月末現在 (単位：頭、円)

| 区 分 | 肉専用種 | 交雑種 | 乳用種 | 合 計 |
|-----------------------------|----------------|-------------|------------|-------------|
| 積立頭数 | 26.2-3 月積立分 | 133 | 151 | 13 |
| | 免除 | 15 | 14 | 29 |
| | 26.4-27.1 月積立分 | 469 | 1,327 | 188 |
| | 免除 | 37 | 26 | 43 |
| 生産者積立金単価 | H25単価 | 18,000 | 30,000 | 25,000 |
| | H26単価 | 18,000 | 30,000 | 20,000 |
| 生産者積立金額 | 10,836,000 | 44,340,000 | 4,085,000 | 59,261,000 |
| 農畜産業振興機構補助金 (生産者積立金×3 倍) | 35,316,000 | 136,620,000 | 17,010,000 | 188,946,000 |

[大雪支援対策] (単位：戸、頭、円)

| 積立免除対象 | 戸 数 | 積立金額 | 積立頭数 |
|--------|-----|-----------|------|
| | 7 | 3,721,000 | 164 |

[補填金実績]

(単位:頭、円)

| 区 分 | 肉専用種 | 交雑種 | 乳用種 | 合 計 |
|------------|------|-----------|------------|-----------|
| 交付対象者数(延べ) | 54 | 168 | 23 | 245 |
| 交付対象頭数 | 通常 | 201 | 1,224 | 1,588 |
| | 免除※ | 19 | 40 | 130 |
| 補填金額 | 通常 | 1,921,200 | 54,565,600 | 9,223,800 |
| | 免除※ | 241,100 | 1,604,800 | 2,723,500 |

※ 積立金免除牛の補填金交付については、補填金単価の3/4の額を交付

[推進事業]

| 区 分 | 内 容 |
|-----------------|--|
| 1. 推進会議 | ○委託先の担当者を対象に年1回 ・平成26年7月23日 甲府市 議事:(1)H25年度事業実施状況について (2)H26年度事業推進について (3)その他 参集範囲等:県、委託先(JA、団体)、協会 11名 |
| 2. 普及・啓発活動 | ・業務規程の作成、配布 ・契約生産者へ情報誌の配布 |
| 3. 調査及び指導 | ・事務委託先及び契約生産者に対し、個体登録等効率的な事業推進のための確認・指導を実施 現地指導回数 6回 |
| 4. 肥育牛補填金の円滑な業務 | ・全国会議 出席 東京 2回3名 ・システム研修会 出席 東京 1回1名 ・業務に係る台帳等書類整備 ・委託先、生産者等から提出された書類の確認・連絡・調整を実施 |

【他団体事務局業務受託】

1. 収益事業

山梨県養豚協会、山梨県畜産技術連盟及び山梨県馬事畜産振興協議会の事務局として、それぞれの業務を実施した。

理事会議決事項

| 期 日 | 場 所 | 議 決 事 項 |
|-------------|----------|--|
| 平成26年6月6日 | 山梨県自治会館 | (1) 第25回定時総会開催日時及び提出議案について (2) 平成25年度決算の承認について (3) 任期満了に伴う理事改選について (4) 定款の一部改正について (5) 取引金融機関の指定について (6) 新規事業の取り組みについて (7) 付帯決議について |
| 平成26年6月23日 | 山梨県自治会館 | (1) 役付役員の選定について |
| 平成26年11月21日 | 山梨県自治会館 | (1) 平成26年度補正予算書について (2) 役員の補欠選任について (3) 会費規程について |
| 平成27年3月11日 | 甲府市遊亀公民館 | (1) 臨時総会開催日時及び提出議案について (2) 平成27年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて (3) 平成27年度会費の賦課について (4) 平成27年度借入金の最高限度額及び借入先の決定について (5) 役員の報酬額について (6) 付帯決議について |

総会議決事項

| 期 日 | 場 所 | 議 決 事 項 |
|----------------------|-----------|--|
| 平成26年6月23日 (第25回) | 山梨県自治会館 | (1) 平成25年度決算の承認について (2) 任期満了に伴う理事改選について (3) 定款の一部改正について (4) 取引金融機関の指定について (5) 新規事業の取り組みについて (6) 付帯決議について |
| 平成26年12月24日 (臨時) | 書面決議 | (1) 平成26年度補正予算書について (2) 役員の補欠選任について (3) 会費規程について |
| 平成27年3月27日 (臨時) | 甲府市総合市民会館 | (1) 平成27年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて (2) 平成27年度会費の賦課について (3) 平成27年度借入金の最高限度額及び借入先の決定について (4) 役員の報酬額について (5) 付帯決議について |

監事監査の実施状況

| 期 日 | 場 所 | 内 容 |
|------------|-------------|-------------------------|
| 平成26年5月20日 | 山梨県畜産協会 役員室 | 平成25年度業務執行状況及び決算内容等について |

運営委員会

| 名 称 | 期 日 | 場 所 | 内 容 |
|-------------|-----------|-----------|---|
| 価格安定業務運営委員会 | 平成26年6月2日 | 甲府市総合市民会館 | (1) 平成25年度価格補償業務報告事項について (2) 平成26年度肉牛価格差補てん事業について (3) 平成26年度子牛市場活性化推進事業について |

その他

| 名 称 | 期 日 | 場 所 | 内 容 |
|-------------------|-------------|----------------|--------------------------------------|
| 県監査委員事務局 予備監査 | 平成26年9月16日 | 山梨県畜産協会 役員室 | 平成25年度財政的援助等に係る出納 その他の事務について |
| 県監査委員事務局 委員監査 | 平成26年10月20日 | 山梨県畜産協会 役員室 | 同上 |
| 県公益認定等審議会 立入検査 | 平成26年10月30日 | 山梨県畜産協会 役員室 | 公益社団法人及び公益財団法人の認 定等に関する法律に基づく立入検査 |

会員及び役職員の構成（平成27年4月1日現在）

会員数

| 26年3月末 | 26年度入会 | 26年度退会 | 27年3月末 |
|--------|--------|--------|--------|
| 55 | 0 | 1 | 54 |

役員数

| 会長 | 副会長 | 専務 | 理事 | 監事 | 計 |
|----|-----|----|----|----|----|
| 1 | 1 | 1 | 10 | 2 | 15 |

職員数

| 正職員 | 契約職員 | 計 |
|-----|------|---|
| 4 | 2 | 6 |